

PAさんがおっぱいマゾの童貞彼氏に初パイズリした時の思い出を振り返りながら、Oカップ121cmのデカパイで極上もちふわパイズリしてあげる話



ぬちゅっ♥どちゅっ♥ぱちゅっ♥♥だぼっ♥♥ぱんっ♥♥♥たぱんっ♥♥♥ずりゅっ♥ぱんっ♥

「そんなに私のおっぱい好きなんですか？♡付き合い始めてから毎日パイズリしてますよね♡一昨日は体操服、昨日はチアコス、今日は水着・・・♡ほんとしょうがない彼氏さんですね♡」

ずりゅっ♡♡たぱっ♡♡たぱんっ♡♡♡ぱちゅん♡♡♡どぱっ♡♡ぱんっ♡♡♡

「もしかして、私の体が目当てで付き合ったんですか？♡」

「ふふっ♡そんなにあんあん喘いだらそうだって言ってるようなものですよ？♡嘘がつかないおっぱいマゾの君には困ったものですね・・・♡ほら、もちもちおっぱいに集中してください♡」

ずりゅ♡ぱんっ♡♡ぱちゅっ♡♡ぱちゅ♡♡たぱっ♡♡♡ぱちゅん♡♡♡ぱんっ♡♡♡

「ヘコヘコ～♡っていっぱい腰振っていいですよ♡『こんなデカパイ目の前にして、我慢できないよお～♡おっぱいに負けちゃう～♡』って♡がんばれ♡がんばれ♡」

ぱんっ♡♡だぱんっ♡♡ぱちゅっ♡♡たぱっ♡♡♡ぱちゅん♡♡♡ぱちゅ♡♡ぱんっ♡♡♡

「今まで私に声をかけてきた人はみ～んなおっぱい目当て♡ライブハウスでゆさっ♡ぶるんっ♡っておっぱい揺れてるのをチラチラ見てくるバンドマンのみなさん♡『おっぱいでっか♡』『デカ乳エロすぎ・・・♡』『このデカパイ独り占めしたい・・・っ♡』って鼻息荒くしながら近づいてくるんです♡」

たぱ♡♡ぬちゅっ♡ぱちゅっ♡♡ぱんっ♡♡♡ぱちゅん♡♡♡ずりゅっ♡♡ぱんっ♡♡♡

「君も同じです♡ライブハウスに入ってきた時からず～っとおっぱい見てましたよね♡『こんなおっぱい見たことない・・・♡おっぱいちゅぱちゅぱ吸って甘えたいよお・・・♡もちゅもちゅずりずりパイズリされたい・・・♡』って顔♡挨拶する時もセトリ表渡す時も演奏中も打ち上げの時も♡頭の中は私のおっきなおっぱいでいっぱい♡♡♡どうやったら私と付き合えるかを必死に考えてる♡私、あの可愛い顔が大好きなんですよ♡理性より性欲が前に出てきて、どうしようもなくなる男の子の顔が♡あの顔を見るのが楽しみでライブハウ

スで働いているって言うてもいいぐらい♡若いバンドマンの子ほど経験も少なく、目の色を変えておっぱいガン見してくるんです♡」

ずりゅっ♡♡たぱっ♡♡たぱんっ♡♡♡ぱちゅん♡♡♡どぱっ♡♡ぱんっ♡♡♡

「君が私に告白してくれた時もすごく可愛かったな♡『付き合ってください！』って言いながらおっぱいの谷間をじ〜〜〜♡♡♡♡♡って見てきて♡私というより、おっぱいに告白してるみたいでしたよ？笑♡バレてないと思ってたみたいですけど、女の子は意外に気づいてるんですからね♡まあ、確かに君をからかうために？♡告白中ずっと腕をおっぱいでむにむに〜♡って寄せて、わざとゆさゆさ♡たぽたぽ♡って揺らしてましたけど？♡でも、あんな誘惑に負けてたらダメですよ♡男の子なんですから♡」

たぱっ♡ぱちゅん♡♡だぱんっ♡どぱっ♡♡ぱんっ♡たぱっ♡♡たぱんっ♡♡♡ぱちゅっ♡♡ぱんっ♡♡♡たぱんっ♡♡♡どぱっ♡♡ぱちゅん♡♡

「付き合い始めてからも君は本当に相変わらずでしたよね♡女性経験がないから、手を繋ぐのもすごくすごく迷いながらそ〜〜と『きゅっ♡』って手を繋いできて♡『はあ…♡この子、やっぱり童貞だ…♡』って気づいた時♡胸の奥がキュンキュンってしちゃいました♡こんな可愛い子を自分色に染められるんだ…♡って思うだけで、おっぱいが大きくてよかったって思いましたね♡」

ぱちゅんっ♡♡だぱっ♡だぱんっ♡ぐちゅっ♡♡どぱっ♡♡ぱんっ♡たぱんっ…♡♡♡どぱっ♡♡ぬちゅっ♡♡ずりゅ♡♡たぱんっ♡♡ぱちゅん♡♡

「初めて私の家に来た時も、部屋の匂いだけで股間膨らませて…♡確かに、童貞さんには女の子の部屋の匂いって刺激強すぎますよね♡あ、さては『あの引き出しにブラジャーとかあるのかな…♡』『このベッドでオナニーとかしてるのかな…♡』『も、もしかしたら僕もここでSEXできるかも…♡』とか妄想してましたか？♡股間抑えながら平静を装ってる姿もいかにも童貞って感じで可愛いポイント高かったですよ♡そんなむっつりスケベさんのために、トイレから戻ってくる時わざとコケた演技して後ろからおっぱいむにゅ〜〜♡♡むっぎゅう〜〜〜♡♡♡♡♡って押し付けてあげたら♡ビク♡ビク♡♡って体震わせながら小さい声で『あっ…♡おっぱい…♡♡♡』って♡♡♡おっぱいの柔らかさに我慢できずに声出しちゃうなんて、どれだけ私をキュンキュンさせれば気が済むんですか!♡♡って思いましたね♡」

ゆう…♡♡♡♡♡♡』全然止まらないぴゅっぴゅ♡♡♡びゅくっ♡♡♡どぴゅぴゅ～
～～っ♡♡♡♡♡♡やわらかもちもちおっぱいに包まれて♡♡♡早漏おちんちんど
ぴゅどぴゅ挟射♡♡♡『あんあん♡♡♡ぴゅっぴゅすごおい♡♡♡私のおっぱいせーえき
まみれにされちゃいます♡♡♡やあん…♡♡♡彼氏くんの濃ゆいのに染められちゃい
ますう…♡♡♡』って追い込みウソ喘ぎ♡♡♡どっぷ♡♡♡びゅくっ♡♡♡どぴゅるう～
～～っ♡♡♡♡♡♡♡そこからゆさゆさ♡♡♡たぶたぶたぶっ♡♡♡って高速ストロー
クパイズリ♡♡♡ほんとはやめてほしくないクセに『あっ♡♡♡ちょっ…♡♡♡♡♡♡
やめっ…♡♡♡♡♡♡♡』なんて言って♡♡♡ガクガクガクガク♡♡♡って腰が震えだ
しちゃったから、ラストパートで『イケっ♡♡♡イケっ♡♡♡おっぱいマゾ♡♡♡デカパイ
に挟まれただけでイっちゃうザコ彼氏♡♡♡童貞の臭くてドロドロなせーえきだせっ
♡♡♡だ～～～せっ…♡♡♡♡♡♡♡』どっっっっぴゅんっ…♡♡♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

ピタッ…♡♡♡ずり…♡♡♡ずり…♡♡♡

「今はまだ、イっちゃダ～メ…♡♡♡」

どぶっ…♡びく…♡♡びくっ…♡♡♡どぶう…♡ガク…♡♡ガク…♡♡♡

「ふふっ♡我慢汁たくさん♡ぴゅっぴゅ我慢できてえらいえら～い♡です♡」

「…その後は大変でしたよ？♡私も君も精液まみれで、拭き取るのにすごい時間がか
かったんですから♡♡♡あんなに出す子を見たことないです♡♡♡ほんと、よかったです
ね♡私でパイズリ童貞卒業できて♡♡♡」

ぬっちゅ♡ずりゅっ…♡♡ぬち…♡♡ぬちっ…♡♡♡

たぶっ…♡たぼ…♡♡たぼっ…♡♡♡

「…ほら、思い出話もいいですけど、おっぱいにも集中してくださいね？♡たくさんパイズ
リして、このおっぱいじゃないとイケない体にしちゃいます♡いや、というかもうなりかけてま
すよね♡♡だって、付き合い始めて1か月経つのに毎日おっぱいでしか射精してないん
ですから♡」

ぬちゅんっ…♡

「もう6回も射精してるのにまだ大きくなって・・・ほんとにおっぱい大好きなんです♥」

「・・・え？『そろそろ本番がしたい』？ あらあら♥こんなにおっぱい好きな君が本番えっちがしたいなんて・・・♥」

「確かに、パイズリ童貞は卒業できたのに、付き合ってから1回もSEXはできてないですもんね・・・♥でも、本番がしたいって気持ちもわかりますけど、焦っちゃダメですよ♥もっと関係が深まってからにしないと♥」

「もう・・・♥そんな顔してもダメですよ♥ダ～メ♥泣きそうな顔で見つめてきてもダメです♥」

「『どうしてもダメ？』って・・・♥そんな可愛い顔でお願いされたら揺らいじゃうなあ・・・♥う～ん・・・あ、そうだ♥『パイズリで射精我慢できたらSEXゲーム♥』しましょ？♥」

「これ、今までの彼氏にもやってあげたんです♥せっかくの本番えっちですから、射精我慢してできる方が気持ちいいですからね♥そしたら、みんなすごい嬉しそうに挑戦してくれましたよ♥」

「じゃあ、私のどたぶん長乳パイズリ♥1分間我慢出来たら、とろとろおまんこ使わせてあげます♥もうここまでで何回も射精してるから、たったの1分間射精を我慢するのなんて楽勝ですよ♥じゃあ、始めますよ♥」

「よーい・・・・・・・・スタート♥」

ぱんっ♥♥だぱんっ♥♥ぱちゅっ♥♥たぱっ♥♥♥ぱちゅん♥♥♥ぱちゅ♥♥ぱんっ♥♥♥

「パイズリ♥パイズリ♥お姉さんのどたぶんおっぱいでもちもちパイズリ♥」

だぱっ♥もちゅっ♥だぱんっ・・・♥どぱっ♥♥ぱんっ♥たぱっ♥♥たぱんっ♥♥♥

「ほらほら、我慢♥我慢♥ぴゅっぴゅしちやダ～メ♥じゃないと、私とイチャイチャ本番えっちできないですよ？♥女の子のとろとろのおまんこにおちんちんずぶずぶしたいですよ」

ね?♡」

ぱちゅ♡だぱっ♡ぱちゅっ♡♡ぱんっ♡♡♡たぱんっ♡♡♡ぱん♡ぱんっ♡

「下半身ギュッて力入れて…♡頭は違うことを考えて…♡今だけは気持ちよくなるの我慢♡本番えっちであんっ♡あん♡って喘ぐ私のえっちな姿想像しちやいそうになっても我慢我慢♡」

たぱ♡♡ぬちゅっ♡ぱちゅっ♡♡ぱんっ♡♡♡ぱちゅん♡♡♡ずりゅっ♡♡ぱんっ♡♡♡

「あ、そうだ♡このゲーム、成功した元カレが何人いるか教えてあげましょうか?♡」

「もし成功例があったら勇気が出ますよね♡『今までに出来た人がいるなら僕にもできる♡ぴゅっぴゅ我慢してぱこぱこ本番えっちできるっ♡』って♡」

ぱちゅ♡だぱっ♡ぱちゅっ♡♡ぱんっ♡♡♡たぱんっ♡♡♡ぱん♡ぱんっ♡♡♡たぱんっ♡♡

「じゃあ教えてあげます♡答えは…」

「ゼロ♡♡♡」

だぱっ♡ぱちゅん♡♡だぱんっ♡どぱっ♡♡ぱんっ♡たぱっ♡♡たぱんっ♡♡♡ぱちゅっ♡♡ぱんっ♡♡♡たぱんっ♡♡♡どぱっ♡♡ぱちゅん♡♡

「残念♡誰も成功してないんです♡今まで何人も挑戦してるのに、み～んな失敗♡『あんあん♡もちもちおっぱいに負けるう～♡おまんこしたいのにい～♡』って、嬉しいのか悲しいのか分からない声出しながらおっぱいまんこに濃厚せーえきぴゅっぴゅしちゃうんです♡」

どちゅっ♡だぱんっ♡どぱっ♡♡ぱちゅんっ♡♡たぱんっ♡♡ぱんっ♡♡ぐちゅっ♡♡たぱんっ♡どぱっ♡♡たぱんっ♡♡ずりゅ♡♡ぐちゅっ♡♡たぱんっ♡♡♡ぱちゅんっ♡♡ぬちゅっ♡♡ぱちゅん♡♡

「どうですか？♡もう勝てないって絶望しちゃいました？♡でも、逆に考えてください♡君が初めての成功者になればいいですよ♡このゲームに勝った初めての彼氏になって、念願だった童貞卒業♡しましょ？♡」

ぱんっ♡だぱんっ♡どぱっ♡♡ぱちゅんっ♡♡たぱんっ♡♡ぱんっ♡♡ずりゅ♡♡♡ぐちゅっ♡♡たぱんっ♡♡♡ぱちゅん♡♡ぱちゅんっ♡♡ぬちゅっ♡♡どぱっ…♡♡

「ほら、あと30秒♡もうちょっとだけ我慢すれば、本番えっちできますよ？♡」

だぱっ♡ぱちゅん♡♡だぱんっ♡ぱんっ♡♡ずりゅ♡♡♡どぱっ♡♡ぱんっ♡たぱっ♡♡たぱんっ♡♡♡ぱちゅっ♡♡ぱんっ♡♡♡たぱんっ♡♡♡どぱっ♡♡ぱちゅん♡♡

「頑張って我慢してる顔、可愛い♡それじゃあ私も、本気出しちゃおっかな♡本番えっちしたいなら、これくらい耐えられますよね…♡♡♡じゃあ、イきますよ♡」

ぱんっ♡だぱんっ♡どぱっ♡♡ぱちゅんっ♡♡たぱんっ♡♡ぱんっ♡♡ずりゅ♡♡♡ぐちゅっ♡♡たぱんっ♡♡♡ぱちゅんっ♡♡ぬちゅっ♡♡ぱちゅん♡♡ずりゅ♡♡♡どぱっ♡♡ぱんっ♡たぱっ♡♡

「マゾ♡マゾ♡いつも彼女のデカパイガン見してハアハア言ってるおっぱいマゾ♡」

ぬちゅっ♡♡たぱんっ♡♡ぱんっ♡♡どぱっ♡♡たぱんっ♡♡どぱっ♡♡たぱんっ♡♡ずりゅ♡♡♡ぐちゅっ♡♡たぱんっ♡♡♡ぱちゅんっ♡♡ぬちゅっ♡♡ぱちゅん♡♡たぱんっ♡♡ぱんっ♡♡ずりゅ♡♡♡

「付き合って1カ月经ってるのに本番えっちしてもらえない♡パイズリが大好きすぎてどうしようもないおっぱいマゾ♡」

ぱちゅんっ♡♡だぱっ♡だぱんっ♡ぐちゅっ♡♡どぱっ♡♡ぱんっ♡たぱんっ…♡♡♡どぱっ♡♡ぬちゅっ♡♡ずりゅ♡♡たぱんっ♡♡ぱちゅん♡♡ぱちゅん♡♡だぱんっ♡ぱんっ♡♡

「ねえねえ？♡おっぱいマゾくん♡もう限界ですよ？♡じゃあ、今♡ぴゅっぴゅしましょ♡ちょっと先の未来の気持ちよさより、この瞬間の快感を取っちゃいましょ？♡ほらほら

「負けることに快感を覚えるおっぱいマゾ・・・♡私の彼氏くんはどうしようもない変態だったみたいですね♡でも、安心してください♡そういう彼氏くんのこと、私は好きでいてあげますから♡」

ぶびっ・・・♡♡どぶ・・・♡♡♡びゅくう・・・♡♡♡♡

びくっ・・・♡びくう♡♡ガク・・・♡ガク・・・♡♡

「負けたのにとっても気持ちよさそうな顔・・・♡君ってやっぱり、正真正銘のおっぱいマゾなんですね・・・♡バンドよりもお姉さんのおっぱいに夢中になっちゃったド変態マゾ♡」

「いいですよ♡そんな可愛い彼氏くんのために、明日からもずっとパ・イ・ズ・リ♡してあげます♡」

終